

4年2組

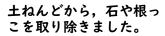
土の中から粘土探し ~粘土はどこに?~



粘土気持ちいい~

「土ねんどの中に粘土あるんじゃない?」

粘土はどこから採れるのかと話題になったとき、H君がこうつぶやきました。土ねんどとは、畑につくった水路づくりでシートを固定するために使った土のことです。この土ねんどから粘土を取り出せるのか実験をしてみました。







水を入れてよくかき混ぜ た後,30秒待ちました。

下にたまっていない泥水 を別の器に移しました。





|日おいておき, 上澄 みの水を流すと底に土 がたまりました。

底にたまっている土を触ってみると、さらっとする感触。これでは、水が多すぎて、粘土とは言えないさわり心地でした。「ファイヤーすればいいんじゃない」のWさんの言葉から実際に加熱して、水分を減らしてみることにしました。

理科室に移動し、アルコールランプで加熱してみました。「うわぁ。ねちょねちょしてきた。」と粘土ならではのあの感触が現れてきました。冷えたのを確認し、手でこねてみました。「粘土気持ちいい~。」とその感触を楽しんでいる様子もありました。そして、粘土を取り出すまでの土ねんどの様子を確認してみました。

- ・掘ったばかりの土ねんど:「大きな石などがある」「くずれやすい」
- ・ふるいをかけた土ねんど:「さらさらしている」「泥団子とかに使えそう」
- ・土ねんどから取り出した粘土:「触ると気持ちよかった」「器が作れそう」

などの違いを感じているようでした。また、「器が作れそう」につながる「土器作れるんじゃない?」という考えも出ました。土器について話題があがったので、土器についてきいてみました。すると、「土器は、粘土でつくった器のことだよ。」「でもさ、(粘土が)もっとたくさん必要じゃない。」「校庭の土はどう?あそこのはかたまりやすかったし。」「畑の土も使えそうじゃない。」「それぞれで調べてみたらどう?」と、色々な場所から粘土をとる作戦が始まりました。

ゃない。」「校庭の土はどう?あそこのはかたまりやすかったし。」「畑の土も使えそうじゃない。」「それぞれで調べてみたらどう?」と、色々な場所から粘土をとる作戦が始まりました。 「畑の土みて一。(日光に当たって)光ってる。触るとねちょねちょしてるよ。」と色々な場所の土の感触を確かめたり、「桜の木の下の土は固まりやすいからスコップでくだいてから、ふるいにかけてるんだよ。」と土の特徴に応じた工夫をしたりと、

それぞれが粘土探しをしています。そんな中、Kくんは、「(桜の木の下の土で)器作ってみたんだけどさー。すぐにぼろぼろになっちゃうんだよー。」と早速、器の形にできるのか挑戦していました。また、Rさんは、「土器を作るためには、どんな粘土がいいんだろう。」と振り返っています。私たちの足元に当たり前のようにある土の中にある粘土は、色々と奥が深そうです。私も粘土に触れながら、その気持ちよさを味わっています。学校の土にある粘土探しから、粘土を使ったものづくりまで目を向けています。これからの活動がわくわくどっきどきです。

